

蛇めけの碑・悲しめる乙女の像 Df/Tr



Ver.1.0(2019.03)

災害伝承 DATA

所在地：長野県木曾郡南木曾町読書
緯度・経度：北緯 35 度 35 分 57.9 秒
東経 137 度 36 分 19.7 秒

伝承形式：碑・石塔・石仏
種類 / 要因：土石流 / 集中豪雨
災害発生：1953 年（昭和 28 年）7 月 28 日
建立時期：1960 年（昭和 35 年）8 月
指定等：土砂災害警戒区域（土石流）・
町指定史跡・国立公園
周辺地形：山地・扇状地



観光情報はこちら

史実・伝説

白い雨が降るとぬける
尾先谷口宮の前
雨に風が加わると危い
長雨後谷の水が急に止ったらぬける
蛇めけの水は黒い
蛇めけの前にはきな臭い匂いがする

周辺案内

隣接する天白公園は、400 株のミツバツツジの大群落が見事。
4 月中旬頃に「なごそミツバツツジ祭り」を開催しています。
南木曾駅前を通る中山道沿いには、江戸から数えて 42 番目の
妻籠宿があります。重要伝統的建造物群保存地区に指定され、
宿場の街並みが保存されています。